



今の子



令和4年度 えのき通信
海津市立今尾小学校だより
令和4年12月1日

来年につなぐ時



あと一ヶ月で二学期が終わりです。今までの自分や仲間の頑張りや成果を振り返りながら、新たな目標をたて、三学期、新しい年度につなぐ十二月です。

四月のスタートの頃と比べて、継続して取り組み、当たり前になってきたことがたくさんみられます。

○爽やかで、相手まで元気にしてくれる「おはようございます」「こんにちわ」の挨拶を言われなくても進んで行える。

○昼の放送で委員会が、今日見付けたあいさつや掃除などのよかった人を紹介してくれています。何度も同じ人が登場します。それだけ、よい習慣になっているのだと思います。

○特別教室等へ移動するときは、声をかけ合い、静かに移動し、静かに待つことができます。

○仲間の方を見て、話したり、聞いたりしている。

また、ある子は、字をきれいに書くことをノートだけでなく、心のアンケートなどでも心掛け、どんな場でも丁寧な文字を今でも書いています。

このように、頑張っていること、続けていることが目に見えるようになると、「やってよかった」と感じられ、本人も満足感・

充実感が生まれ、さらに向上していくことが期待できます。小さなこと、些細なことでも今までにない変化を認めることが、来年につながり、新たな目標をもつこととなります。

これらの「頑張る」は、「苦しみを伴った『頑張る』ではなく、「楽しみを伴った『頑張る』」をしてきたのではないのでしょうか。

一般的に、「頑張る」＝「つらいこと」ととらえることが多いのではないのでしょうか。「勉強を頑張る」といった場合、おそらく「つらい孤独な戦いを忍耐で頑張る」という様子をイメージすることでしょう。もちろん、この方法でも、ある程度は達成できるでしょう。しかし、ある程度です。しかも、このタイプの頑張る道のりは、厳しくつらいものであり、できれば避けたい道を行って通っているため、ちよつと油断すると、すぐに後退してしまいます。

学習・生活面だけでなく、どんなことでも「楽しみをもって」「楽しんで」がないと、続けることどころか、取り掛かることもできないのが一般的です。

学校ではできる限り、楽しめるような状況、雰囲気になるように心掛けています。ご家庭や地域でも、そのようになる環境づくりを心掛けてください。そして、できた時には認めることをしていきます。今後も、ご理解ご協力をお願いします。

創立百五十周年記念事業

えのきコンサート

十一月五日に第二十七回「えのきコンサート」が、「心をつなげるハーモニー」笑顔で迎える新時代」をめざして行われました。

この日を迎えるまでに、休み時間に進んで練習したり、他学年と演奏をしたりと楽しみながら取り組んできたことが何よりの財産です。まさに学校の教育目標である「進んでやりぬく」ことができました。

合唱も合奏もどちらも演奏です。演奏は聴く人に心と音を伝えられ、それを受け止めてもらえて成立するのです。まさにそのことが実現できた場でした。自分たちが演奏している時だけでなく、演奏に合わせて体でリズムをとったり、手拍子をしたりしている子がたくさんいたのがその証です。

保護者の皆様には、直接体育館に来て鑑賞していただいたり、ライブ配信で視聴していただいたりとありがとうございました。



今後も 感染予防対策の徹底を

コロナ感染がまだまだ終息しない、他の感染症も心配される中ですが、これまで行ってきた基本的な感染予防対策を今後もより一層の徹底を家族ぐるみでお願いします。

何卒今の状況をご理解いただき、ご協力を今後お願いします。

(日比 修二)

